

郷だより

No.250

社会福祉法人大阪福祉事業財団
三島の郷高槻市大字原924-4
電話 072-688-0768

今月の企画

- | | |
|------|-------------|
| 1面 | 節分の日 |
| 2・3面 | 作業班のイベントの様子 |
| 4面 | トピックスなど |

鬼は外 福は内



節分とはその名の通り「季節を分ける」ことをいいます。四季ということは節分も四つあったのでしょうか?

その通り、春の立春・夏の立夏・秋の立秋・冬の立冬が昔の節分でした。

しかし現在の節分は二月三日を指します。日本では昔から春の訪れを重要視しており、一番ありがたいとされていた立春だけが節分だと言われるようになったのです。

その昔に京都で鬼が出たころ、七福神のひとりである毘沙門天が「鬼の目に豆を投げろ」とお告げをされて、それを実行してみたところ、無事に鬼退治ができたことから節分の日には豆をまくということになったのです。

また豆をまいて家の中にいる鬼を追いついて、気持ち新たに、また新年を迎えようという願いも込められているということです。



芝生広場も雪で真っ白になりました

1月から2月にかけて、三島の郷周辺では雪が降り、辺り一面真っ白になることもありました。利用者さんは、「今日

は寒いから散歩もやめよう」と温かい居室棟で過ごされることもしばしば。早く暖かい日差しの中、散歩やひなたぼっこしたいですね。

【吉田】

雪やこん

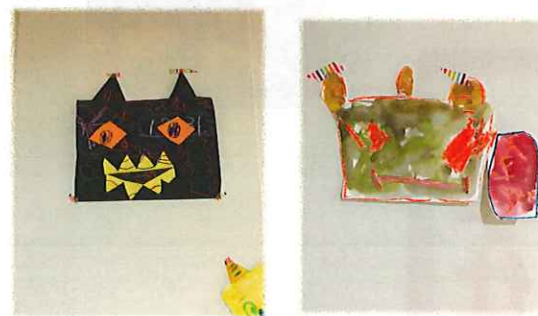
節分の巻き寿司

2月3日、節分の日の夕食は巻き寿司でした。献立表を見て楽しみにされている利用者さんも多かったです。



関西発祥と言われるこの節分の恵方巻き。今では全国的に広まってきていますね。三島の郷でも毎年恒例の行事食の一つです。キザミ食やプリン食など、見た目もおいしそうに

利用者が描かれた鬼の面々



と調理職員も工夫を凝らして提供されており、みなさん美味しそうに食べておられました。



刻みのりをまぶして食べやすく (荒ミジン食)

支援員の退職

一月三十一日付

清見麻世 (非常勤職員)



行事予定

- | | |
|-------|-------------------|
| 2月26日 | 太鼓サークル |
| 3月4日 | パンダサークル |
| 3月11日 | 太鼓サークル |
| 3月18日 | お花サークル
パンダサークル |
| 3月24日 | ガレッジセール |
| 3月25日 | サークル発表会 |

作業班 イベント特集

いきいき班



いきいき班では、おやつ作りと集団レクをイベントとして実施しました。ジェラート作りは果物を切ったり、冷凍保存パックに入れて手で揉んだりと楽しみながら作ることができました。



農作業班



収穫したさつま芋を使って施設全体で焼き芋をしました。準備段階から各班協力して行ない、出来上がった焼き芋については全班で試食し、秋の味覚を楽しみました。



結び織り班

年に3回のイベントをととても楽しみにされている利用者さんたち。この日はパウンドケーキの飾りつけをしました。慎重に飾る人、ダイナミックな人、それぞれ様々な作品となりました。



園芸班



班内でのイベント風景です。今回のメニューはメンバー皆が大好きな焼きそば。ホットプレートの熱気は熱いですが、しっかり炒めます。できあがったら、早速、いただきます。食欲と共に作業意欲が湧いてきます。

これがあるから がんばれる!

今年度より午前中は選択できる活動・午後からは従来の作業班に分かれての活動となりました。半日ということで作業時間が減りましたが、ほぼ作業の担当職員が付けることや、時間が限られているために集中できることなどの効果で利用者の皆さんもしっかりと作業活動に取り組まれています。

陶芸班



クリスマスのシーズンにクリスマスケーキを作りました。バウムクーヘンの上に生クリームやイチゴ、マシュマロ等で飾り付けをしました。



療育班



療育班イベント（デザート作り）は毎月うめユニットで実施しています。この写真は、プリンアラモードを作っている時のものです。美味しそうに食べておられる姿が印象的でした。

手仕事サロン



京都の丸太町にある京町家キャンパス「江湖館」にて、年に数回販売会に参加しています。同志社大学の学生さんや先生・地域の方々でにぎわっている販売会です。

手仕事サロン自体は毎月開催されていて、地元の野菜や大原工房の織物など5、6のお店が展示されています。

参加する利用者の方も毎回楽しみにされています。

【二ノ瀬】